クーラー使用上のご注意

この度は活魚クーラーJSシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
ご使用の前に取扱説明書（安全上のご注意）をよくお読みの上、正しくお使いください。
また後日の保守・点検等のために、大切に保管しておいてください。

●必ずお守りください

この製品および取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂く為の重要な内容が説明してあります。

⚠ 警告	無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災などの重大事故の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、物的損害の可能性が想定される内容を示しています。

物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示す

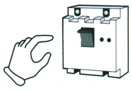
図記号の例

! この記号は、必ずすること（強制行為）を示しています	⊘ この記号は、していけない行為（禁止行為）を示しています

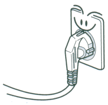
設置上のご注意

⚠ 警告

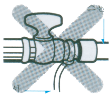
! 水槽の掃除および水の交換をする前には、必ず専用漏電ブレーカーをオフにして下さい。
漏電、感電および故障の原因になります。



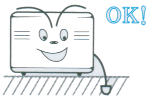
! 電源は必ず冷却機専用の電源を使用して下さい。電気工事は専門の方が行ってください。
感電または火災の危険があります。



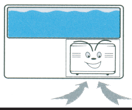
! アース(接続線)は、ガス管･水道管･電話線等に繋がないで下さい。
感電や火災の原因の危険があります。



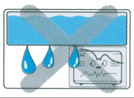
! 冷却機は陸上専用ですので設置時、アース(接続線)を必ず地上に接地して下さい。
陸上に設置しないと感電の危険があります。



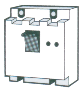
! 冷却機を水槽の機械室内に取り付ける際には、十分な風通しを確保して下さい。
風通しが悪く熱い風が抜けないと冷却の性能が低下したり、火災及び故障の原因となります。



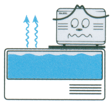
! 冷却機を水槽の機械室内に取り付ける時には、水槽下部に水滴防止加工を行ってください。
水槽の水滴がこぼれて、クーラーにかかりますと、火災及び漏電、故障の原因になります。



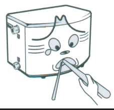
! 電機工事店などの専門店で専用の漏電ブレーカーを設けてください。
専門業者以外の方が工事しないでください。感電または火災の危険があります。



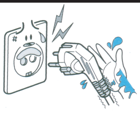
⊘ 冷却機を水槽の上または湿気の多い所には設置しないで下さい。
火災、漏電及び故障の危険があります



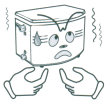
⊘ 冷却機の通風口に異物等は入れないで下さい。
特にお子様が指を入れるなど、それによるケガの無いよう注意して下さい。



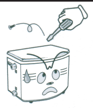
⊘ 電線を引っ張ったり、濡れた手でコンセントを触ったりしないで下さい。
感電または火災の危険があります。



運転中には冷却機を分解·移動しないで下さい。
漏電、感電および故障の原因になります。



製品に電気ヒーターなどを繋いだり、分解·修理·改造しないで下さい。
故障·感電·火災の危険がありますので、修理の際にはサービスセンターにお問合せ下さい。

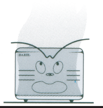


安全のためのご注意

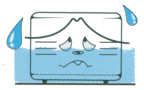
⚠ 警告

専用漏電ブレーカーを使用して下さい。
特にヒューズ代用で針金や銅線等を使用しないで下さい。故障や火災の危険があります。

冷却機から異音·異臭·煙が出たときには、必ず冷却機の電源をオフにし遮断した後、販売代理店にお問合せ下さい。
感電または火災の原因になります。

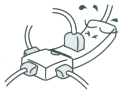


冷却機の設置時、浸水の危険がある所には設置しないで下さい。
感電·漏電および火災事故や故障の原因になります。



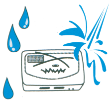
水槽の掃除や水換えの際には、冷却機に水が浸透しないようにして下さい。
電源プラグを抜いたあと掃除して下さい。

電源コンセントを他の製品と繋いで使用しないで下さい。(タコ足配線厳禁)
火災、感電および人命被害または財産損失を引き起こす可能性があります。

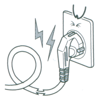


可燃性ガスが漏出されている所や直射光線、熱気が発生する所は避けて下さい。
冷却機周囲にガスが洩れて爆発や火災が発生することがあります。

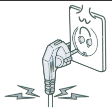
サーモコントローラーを湿気が多い所または水槽の上、隣（周囲)に設置しないで下さい。
温度異常表示または故障の原因になります。



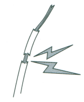
電源コードを無理に曲げたり下部や間に挟めて破損しないようにして下さい。
感電または火災の危険があります。



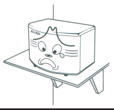
損傷した電源コードまたはプラグ、緩んだコンセントは使用しないで下さい。
感電または火災の危険があります。



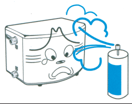
電源を繋げるために被覆線の部分を剥がすときに、他の部分に傷がある状態で使用しないで下さい。
感電および漏電、火災の危険があります。



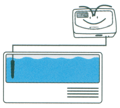
冷却機を不安定な場所に設置しないで下さい。
冷却機が落ちた際には、人命被害や財産損失を引き起こす可能性があります。



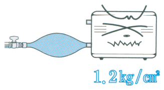
製品に殺虫剤や可燃性のスプレーをかけないで下さい。
製品の故障や火災が発生する可能性があります。



サーモセンサーを取り付ける際は、絶対に水槽及び濾過槽内に水が無い状態で使用しないで下さい。
誤作動および火災や冷却機の凍結、故障の原因になります。

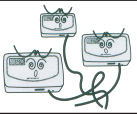


冷却水の配管内水圧を1.2kg/cm^{2}以上で使用しないで下さい。
水圧があまり高いと熱交換機が破裂する可能性があります。

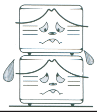


冷却機とサーモコントローラーの連結電線、センサー線に水がかからないようにして下さい。
漏電、火災、故障の原因になります。

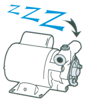
複数台の冷却機を使用する際に、温度計の連結を間違って使用しないで下さい。
冷却機の作動が出来ない可能性があります。



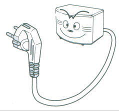
冷却機を二重に重ねて設置しないで下さい。
騒音、感電または火災の危険があるため故障の原因になります。



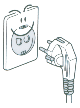
循環ポンプの稼動状態を随時点検して下さい。
冷却機に水が流れなかったり循環ポンプが故障のまま、冷却機を運転しないで下さい。
冷却機の凍結や性能低下および故障・火災の原因になります。



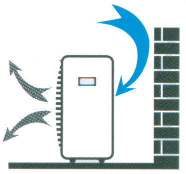
電源は直結で設置して下さい（途中繋ぎが無いようにして下さい)。
合線および断線等は火災、漏電、故障等の原因になります。



入力電圧が100v用は100v以下では使用しないでください。200v用は200V以下の所では使用しないで下さい。
冷却機が作動しないこともあり故障の原因になります。



冷却機の設置時、前･後の風通しを良くして下さい。後ろ側の壁面から20cm･左右1mの間をおいて、
前1.5m以内には障害物を置かないで下さい。



冷却機の設置時には必ず専門店（社)に依頼して下さい。故障･漏水･感電･火災の危険があります。
特に工場地帯または塩分が多い海岸地帯等の特殊な場所に設置する際には購入店又はサービスセンターにお問合せ下さい。

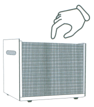
安全のためのご注意

⚠ 注意

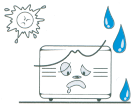
冷却機の掃除およびお手入れは電源を遮断してファンを止めてから行って下さい。
感電やケガの恐れがあります。

修理の際には必ず製品を購入した専門店やサービスセンターにお問合せ下さい。
分解･修理の際に感電や火災が発生する恐れがあります。

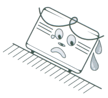
冷却機のラジエタの表面は鋭いため、掃除の際にはご注意下さい。
手等を怪我する恐れがありますので、手袋等を着用して下さい。



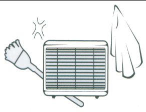
直射光線があたる所や熱い空気、湿気が多い所には設置しないで下さい。
冷却機の性能低下および故障の原因になります。



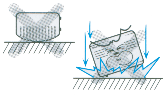
冷却機を傾斜面に設置しないで下さい。
振動·騒音の原因になり冷却機の故障の原因になります。



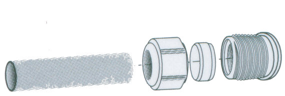
凝縮機（ラジエタ)を月1回掃除して下さい。
怠ると性能低下や故障の原因になります。



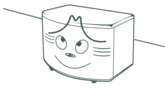
製品の移動時には横にしたり、衝撃を与えたり、落としたりしないで下さい。
製品の故障および安全上の問題が発生する可能性があります。



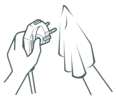
冷却機の連結部分は規格機材を使用し、連結ソケットネジを完全に締めたあと、
冷却機の内部に水が入らないようにして下さい。



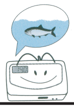
冷却機の設置は障害物がなく風通しがよく、運転時発生する騒音が周りに迷惑にならない所に設置して下さ
故障の危険があり、騒音により周りに迷惑をかける恐れがあります。



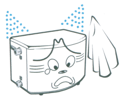
電源プラグのホコリ等は拭き取ったあと、プラグが揺れないようしっかり挿して下さい。
ホコリがあったり、接続不良は火災の原因になります。



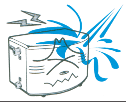
サーモコントローラーは水槽の水温を調節する以外の用途では使用しないで下さい。
精密機器·食品·動植物などの特殊用途では使用しないで下さい。品質低下および故障の原因になります。



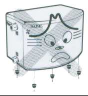
直接水をかけて掃除したりシンナー·ベンゼン·アルコールなどで拭かないで下さい。
感電や火災の危険があります。



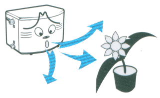
冷却機の内部に水を入れないようにしてください。
感電や火災の危険があります。



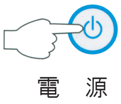
防振ゴムを取った状態で冷却機を設置しないでください。
振動による騒音および故障の原因になります。



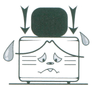
冷却機の風が、人、動植に直接当たらないようにして下さい。
人体·動植物に悪い影響を与える可能性があります。



補助電源スイッチなどをサーモコントローラーの間に取り付けて冷却機をオフにしないで下さい。
故障·感電の危険があります、必ずサーモコントローラーの電源ボタンをご利用下さい。
。



製品の上に乗ったり重いものを置いたりしないで下さい。
故障や感電の危険やケガの恐れがあります。



活魚用クーラーJSシリーズ取扱説明書
JS-40Z JS-75Z JS-150Z JS-220Z

クーラーの使い方

1. 活魚水槽のポンプの吐出側の配管を、クーラーIN側にクーラー入口の口径で配管します。
2.次にクーラーのOUT側を水槽の方へ配管します。
3.電源をサーモコントローラーへ取り付けます。付属のサーモコントローラーを、必ず使用してください。
　サーモコントローラーは温度設定を行う際必要です。
4.ポンプを起動し、水の漏れなどが無いか確認します。クーラーを使用する際は、必ず循環ポンプが作動して、
　水がクーラー内を循環している事を確かめてから、電源を入れてください。

もし循環していない時にクーラーを使用しますとクーラー内が凍って、
チラーボックスが破裂する恐れや、亀裂が入り火災、水もれが起こります。
また濾過槽の水が無くなってカラ運転などで循環していない場合も危険です。

5.循環後にサーモコントローラーで指定した温度になっているかを確認してください。また設定温度は20℃～
　10℃までで設定して下さい。10℃以下になるとコンプレッサーが故障する原因になります。
　カニなどの10℃以下の設定が必要な場合は、低温用クーラーをご購入ください。
6.希望の温度でクーラーが止まる事を確認してください。

取り付けフロー

サーモセンサーは消耗品です。安全の為1シーズン毎に交換して下さい

水槽及び濾過槽などへ

配管出口

循環ポンプ吐出から

配管入口

サーモの電源接続は専門業者の方が取付して下さい。

クーラー電源

水槽か濾過槽へセンサーを入れてください

必ず循環ポンプ作動後に電源を入れる
電源を切る時は、クーラーの電源から切る事

型式 名称	Js-40Z	Js-75Z	Js-150Z	Js-220Z
電　　源（v）	200（単相）	200（単相）	200（三相）	200（三相）
出　　力（w）	400	750	1500	2200
全体冷却水量(L)	300～1000	1000～2000	3200～4000	4800～6000
接続口径（　）	25ユニオン	25ユニオン	30ユニオン	30ユニオン
本体寸法（　）	530×350×380H	660×370×480H	660×440×950H	660×440×950H
重　　量（Kg）	20	35	70	80
冷却機能（kca　）	1000～1300	2000～2600	4000～5000	6000～8000
熱交換器	チタンコイル　チラー式			
圧　縮　器	縦型外部密閉ロータリー式			
凝　縮　器	空冷高温　フィンチューブ式　設定温度幅 10℃～20℃			
蒸　発　器	ツェル　チューブ式			
冷媒ガス	フロン　R-22			
水温調節方法	マイコン自動デジタル温度コントロール			
設置場所	屋内・屋外両用タイプ			
サイクル	50/60 両用タイプ			

電源接続工事のご注意!!
ブレーカーの設置は、安全の為雷などで循環ポンプの電源が切れた場合などに
クーラーの電源も切れる様な仕組みを接続工事業者へご依頼ください。

NEW MARINS